

計画主旨説明書

1 目的

興行開催へ多大なる影響を及ぼす老朽化した高圧幹線設備、受変電設備、非常用発電機設備を改修することを目的と、以下の実施設計を行う。

(1) キュービクル及び高圧幹線の改修

改修範囲 PAS～第一電気室～各電気室箇所（第2電気室～第7電気室）

(2) 仮設キュービクルの設置検討

(3) 非常用発電機オーバーホールの計画及び非常用発電機制御盤の改修

(4) 上記改修に必要な付帯工事

2 設計方針

居ながら施工を考慮し、短期間で改修後の VCB 等高圧機器及び高圧ケーブルに切替を行なえるよう十分検討を行い、施設の停電時間を極力短くできるよう更新手順を作成する。既存設備及び構造等の十分な把握、施設管理者からの施工可能時期や停電可能時間、設備管理状況のヒアリング、施工業者から施工に要する期間についてヒアリングを十分に行った上で、工程及び工区割を検討し実施設計を行う。

また、現行法規・消防指導への対応などを考慮し、設計を行うこと。

3 計画留意点、その他条件等

(1) 改修工事期間中の施設運営計画立案のため、概略工事工程表と概算工事費を提出する。なお、提出時期は令和8年6月初旬までとする。また施設管理者に十分聞き取りし、施工可能時期や施工範囲の整理を行い、必要となる工事期間や工区分を監督員に提示すること。なお、この提示も工事計画作成のため令和8年6月初旬までとすること。

(2) 改修工事が居ながら施工となり、施設運営への影響を極力少なくするため、現実的に実施可能な工事施工手順や仮設計画を含めた設計とすること。取り入れて、実現可能な計画とすること。

(3) 既存設備に不具合が無いか確認し、不具合のあった場合は対応を検討すること。

(4) 変圧器等重量物の搬入経路・方法及び工事中の仮設計画を十分検討すること。

(5) 関係者及び諸官庁と十分に打ち合わせを行い、議事録を作成し、提出すること。